



平成28年9月
(2016年)

緑の学び舎

ニュースレター

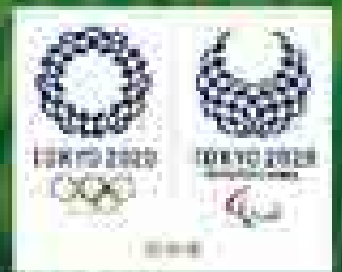
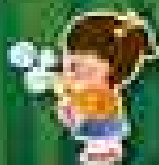


芝生が育む、笑顔あふれる学び舎

〈特集〉平成27年度芝生化幼稚園紹介

- 技術支援事業
- 島しょの芝生化校
- 東京都補助金制度
- 出前芝生
- 校庭芝生の親方・匠

認証式／校庭芝生リーダー養成講座／親方・匠紹介「あっぱれ！親方・匠」



東京都補助金制度

東京都は、芝生化、屋上緑化、壁面緑化する際に必要な費用を補助しています。

校庭芝生化事業

対象経費の1/2を補助します。ただし、芝生の維持管理を地域協働で行う場合は補助対象経費の全額を補助します。

公立小学校・中学校
義務教育学校・特別支援学校

250m²以上の
芝生化が補助対象

※一定の要件を満たせば100m²以上も対象(校庭面積が小さい、芝の生育が難しい場合など)

公立幼稚園

50m²以上の芝生化が補助対象
駐車スペース4台分程度です

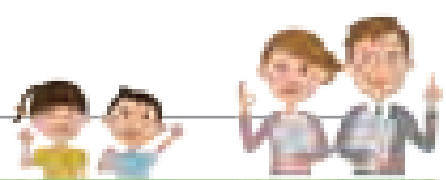
面積の拡張

最初の事業補助
の翌年度から
3年以内



屋上緑化・壁面緑化補助

屋上緑化・壁面緑化の実施について必要な経費を補助します。



屋上緑化したい

補助対象経費の全額を補助します。
(上限は1m²当たり52,000円)

壁面緑化したい

補助対象経費の全額を補助します。
(上限は1m²当たり28,000円)

芝生化維持管理経費補助

専門的維持管理作業を実施する場合に、補助対象経費の1/2を補助します。



芝生化工事から **5** 年間

※専門的維持管理作業とは

芝生の維持管理において、専門的技術を要する更新作業、全面目土作業、播種作業、肥料散布作業、芝生点検及び芝生・土壌診断を指します。

出前芝生

運動会などの行事に
合わせて、「緑のじゅうたん」を
敷きませんか

芝生の良さや維持管理を体験して
もらうため、芝生化未実施校に対し、
天然芝を貸し出します。

- ・設置期間：2～3週間程度
- ・芝生敷設：面積 100～150 m²程度



体験校を募集しています。
詳細は下記へお問い合わせください。

出前芝生で芝生の良さを実感！芝生化校へ

練馬区立豊溪小学校

日高 陽子 副校長先生

インタビュー



平成25年度に出前芝生を敷き、翌年
度に本工事を行い芝生化しました。

出前芝生を設置すると、子供たちは
友達と一緒に寝転がったり、逆立ちし
たり、土の校庭では見られなかった遊
びが見られるようになり、芝生を広げ
ました。

芝生化してからは、芝生が子供たち
の遊びや生活により自然に取り入れ
られ、運動会では芝生の上にシートを
敷いて家族でお弁当を広げる光景が
見られます。

水やりは人の手でもしますが、芝生

専用のスプリンクラーを設置して
もらったので、決まった時刻になると作
動するようになっています。養生期間
を設けながら、芝生の状態を良好に保
てるように、今後も維持管理を続けて
いきたいと思っています。



■お問合せ

緑の学び舎づくり事業について、
詳しい内容を知りたい方は…

東京都教育庁地域教育支援部義務教育課
校庭芝生化推進担当

TEL.03-5388-3567



特集 平成27年度 芝生化幼稚園紹介

芝生も喜ぶ。子供たちの笑顔が宝!



荒川区立南千住第二幼稚園



・園児数 108名
(平成28年5月1日現在)
・芝生化面積 232㎡
・芝生が完成した時期
平成27年度



糸原 淳子 園長先生

インタビュー

園庭を芝生化してから、子供たちの動きがさらに伸びやかに。工事を近くで見られたことは、子供たちにとって、とても貴重な経験でした。

ふかふかの芝生を様々な感覚を通して楽しんでいます

工事が始まる前、子供たちには芝生の園庭になることを分かりやすく説明しました。“安全で気持ちよく遊ぶお庭になる”というふうに話したので、子供たちも出来上がるのをとても楽しみにしていました。

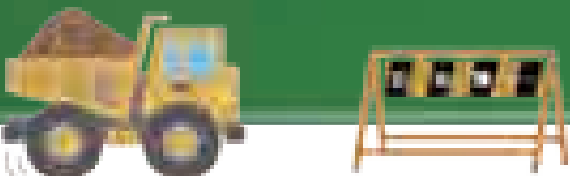
芝生を敷く過程は土日の作業でしたので、週明けに登園したら芝生の庭が出来上がっていたわけです。突然緑の芝生に様変わりした園庭を見て、子供たちは目を輝かせていました。

初めて芝生に入ったときは、「ふかふかだね」「お布団みたいだね」と言いながら誰にも言われないに裸足になったり、寝転がったり、匂いを嗅いで

たりしていました。この園では「見る」「触れる」「嗅ぐ」など諸感覚で感じることを大切にしています。子供たちは正に全身で芝生を楽しんでいる様子でした。ティフン芝という厚みのある芝生の上で、おままごとやピクニックごっこをした

り、子供たちからの提案でお弁当を食べることもあり、芝生が遊びの中に自然に取り入れられています。

芝生の手入れは週1回主事さんが中心となって行っています。作業は保育時間に行っていますので、刈った後の芝をほうきでかき集める作業などを子供たちが一緒に手伝うこともあり、いい経験になっています。



園庭を安全に、きれいにしてくれてありがとう

元々、園庭の土壌が悪く、整地するとき埋めたコンクリート材などが土の表面に出てきて、転ぶとけがをしてしまいそうな状態でした。また、風も強い地域なので、砂が舞い上がると視界が真っ白になるほどでした。砂ほこりを少なくするために、園庭に土の部分はなくし全天候型にするという方法もありました。しかし、園児の98%が高層マンションから通っている実態をふまえると、子供たちにとって土との触れ合いはとても大切なものだと考え、芝生を取り入れた園庭へ改修を行うことにしました。

工事期間中は、子供たちの遊べるスペースを確保しながら工事を進めてくださったり、隣接する小学校が校庭の一部を開放してくださったので、園での生活に支障が出ることはありませんでした。また、子供たちにとって、園庭が目前で毎日変わっていく様子を見られたこと、ブルドーザーなど多くの重機や機械を間近で見られたこと、そして何より多くの大人たちが自分たちの園庭のために働いてくれていると実感できたことは、日常ではなかなか得られない経験でした。

園庭の完成が近づくと、毎日会っていた工事業者の皆さんともう会えなくなるのが寂しくなったのか、子供たちの方から提案があり、「ありがとう



の会」を開きました。それぞれ手紙や絵を描いて渡したり、工事業者の皆さんにインタビューもさせていただきました。ある子供がこの工事で一番大変だったことを聞いたとき、「みんなの生活を邪魔しないように考えながら工事をするのが一番苦労しました。」と答えてくださり、子供たちは、自分たちのことを大事に考えてくれていることに改めて感謝の気持ちを持つことができました。このような交流ができたことも、子供たちにとって貴重な体験だったと思います。



島しょの芝生化校

大島町立つつじ小学校

・児童数 76名
(平成28年5月1日現在)
・芝生化面積 3,989㎡
・芝生が完成した時期
平成22年度

地域とともに育む芝生



ています。その日子供たちは、朝の30分程度を地域の方々と一緒に活動します。子供たちが教室に入った後も引き続き、地域の方々が周辺の整備をさせていただきます。体力的に厳しい作業ですが、皆さん各家庭で定期的に行っている庭の手入れの延長として取り組んでくださっています。芝生を維持していく環境として、とてもありがたいと思っています。

2つの小学校が統合してつつじ小学校が創立して8年目になります。創立当初から芝生化の計画はあり、平成22年度に完成しました。

日常の手入れは教職員が行っていますが、年に数回地域の老人会と子供たちが一緒になって手入れをする会を行っています。

吉澤 淳 校長先生

インタビュー

校庭の光景は芝生の賜物

本校ではサブグラウンドと中庭が芝生化されており、広いサブグラウンドは主にスポーツや全校行事で使用し、中庭は休み時間の子供たちの遊び場になっています。教室の窓を開けるとウッドデッキがあり、そこを降りると芝生の中庭です。子供たちは靴と靴下を脱いで芝生に降り、裸足で駆け回ったりジャングルジムやうんていで遊んでいます。ときには、教員も呼ばれて一緒に追いかけて馬跳びをする光景を見ることができ、芝生の賜物だと思っています。

また、本校の子供たちは外遊びが大好きです。芝生の中庭という環境がそうさせているのだと思っています。



技術支援事業

芝生のお悩み解決します!

東京都教育委員会では、校庭芝生化に取り組む学校に技術的なサポートを行っています。「維持管理の仕方が分からない」「最近芝生に元気がない」など芝生の御相談にお答えします。

相談受付

計画段階のお悩みから芝生化後の維持管理まで、校庭芝生について相談を受け付けます。

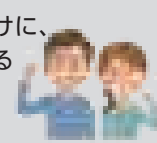


専門家の派遣

芝生の専門家を学校に派遣し、各校の状況に応じた助言等を行います。また、芝生化1～5年目までの学校に一年に一度訪問します。

実地講習会の実施

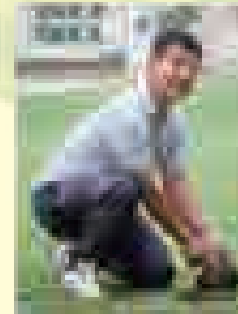
学校やボランティア向けに、芝生の維持管理に関する各学校の状況に合った講習会を開催できます。



はじめまして! 株式会社 栗芝です

代表取締役 栗島 香さん ■お問合せ TEL.03-5903-5333

私ども株式会社栗芝は、学校の校庭や幼稚園の芝生をはじめ、サッカーやラグビーチームの練習場、競技場など、芝生のメンテナンス全般を行っています。今年度東京都の技術支援事業を受託し、芝生化した学校や幼稚園のサポートをしています。



この半年は、特に芝生の補植作業に日々奔走しました。多くの学校で実施しているのがポット苗による補植作業で、児童・生徒、学校の先生をはじめ、保護者や地域住民の方々にも協力いただいて取り組んでいます。ポット苗による補植作業とは、芝草の苗を小さなポットに植え付け、約6週間程度生育させた後、校庭に植え付ける方法です。芝生の生育に合わせて春から夏の時期に行うため、日によっては日差しが厳しく体力を使います。連日学校を訪問して

補植作業をする時期もありました。それでも、悩んだり楽しんだりしながら一生懸命取り組み、成果が実っている学校が多いので嬉しく思っています。今後も、「芝生の生育が…」と困って相談のあった学校を訪問し、アドバイスをしたり、講習会を行ったりしていきます。そして芝生が大好きな社員一丸となって、芝生の魅力を伝えていきます。困ったことがあれば、お気軽にお電話ください。

すばり 校庭芝生化の魅力!

- ・子供が笑顔でゴロゴロ寝転ぶ姿
- ・維持管理作業の手作り感
- ・きれいな花が咲くわけでもなく、おいしい実がなるわけでもないけれど、他では体験できないことができること

ご安心ください 維持管理の心配...

芝生の管理で大事なものは、芝刈り・散水・肥料まきの三つです。「これならできそうだ」のアドバイスを適切にします!

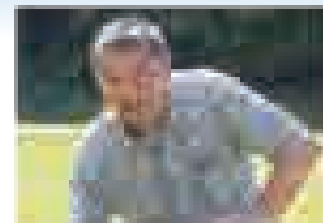
わたしたちのモットー

声が掛かれば すぐに行きます! 困ったことがあれば、いつでも支援します。



島しょ地域担当の専門家

株式会社 緑の風景計画



専務取締役 植栽技術部長

吉岡 俊哉 さん

芝生に適した土壌、島ならではのコミュニティが維持管理に貢献

島しょ地域の特性は、土壌が火山灰地で水はけがいいので、芝生に適しているということです。土壌改良などの必要はなく、元肥を補充する程度の最低限の手入れで十分維持が可能です。

また、地域のコミュニティも島ならではの特性があり、地域の皆さんが自分のことのように学校の芝生の様子を気に掛けてくれます。みんなが使う場所だからきれいな方がいいよねという、地域との自然な関係が芝生の維持をいい具合に助けているように感じます。

島の条件に合わせた対応が必要

通常、芝生の補植にはポット苗を使うことが多いのですが、島では運搬に時間がかかり、途中で芝生の苗が傷む可能性も大きく、定着率は6割以下になってしまいます。そこで、種を使っています。種が定着さえすれば問題ありません。

一方で、小笠原諸島は世界自然遺産に指定されているため、島外から植物を持ち込むことができません。そこで、島内に自生している芝生を増殖して芝生化を行っています。島ごとの条件は異なるので、それぞれの特性に応じた対応が必要です。



種まきの実地講習会 大島町立さくら小学校で





平成27年度 認証式と校庭芝生リーダー養成講座を開催しました。

「校庭芝生の親方・匠」

平成28年2月6日

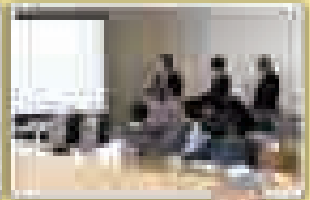
平成27年度で4回目となる認証式では、各校の教職員や維持管理団体のリーダーを中心に、「親方」「匠」が4名ずつ認証されました。今後も維持管理活動の中心的存在として、ますますの御活躍を期待しています。

認証式に引き続き、「平成27年度第2回校庭芝生リーダー養成講座」を開催しました。多摩市立南鶴牧小学校と三鷹市立東台小学校の皆さんが、維持管理の工夫や取組の成果などについて発表しました。参加された方々にとって貴重な情報交換の場となり、今後の維持管理に携わる上でのヒントを得る講座となりました。



校庭芝生の親方・匠とは

東京都教育委員会は、校庭芝生の維持管理に継続的に取り組み、多大な貢献をされた方で、体制の構築や取りまとめに尽力された方を「親方」、技術的な指導に尽力された方を「匠」として認証しています。



(認証者の皆さん)

平成27年度
校庭芝生の

親方

相曾 正明

江東区立大島南中央小学校 子ども育成会会長

増田 隆

板橋区立蓮根第二小学校 芝生見守り隊代表

清水 晃

三鷹市立東台小学校 副校長(平成27年度)

吉田 正行

多摩市立南鶴牧小学校 校長

平成27年度
校庭芝生の

匠

上野 高靖

板橋区立蓮根第二小学校 芝生見守り隊隊長

中島 兼三

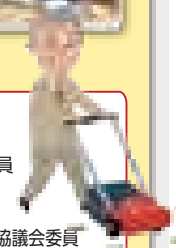
足立区立中島根小学校 開かれた学校づくり協議会委員

相澤 賢治

葛飾区立金町小学校 学校地域応援団

圓入 豊

三鷹市立東台小学校 おやじの会会員(平成27年度)



あっぱれ! 親方・匠

板橋区立蓮根第二小学校では、平成27年度に「親方」と「匠」がそろって認証されました。今回はそのお二人に、活動のきっかけや日頃の活動の様子などを伺いました。

蓮根第二小学校では、平成21年9月に学校支援地域本部が設置され、同時に校庭芝生化計画も動き始めて、半年後に工事が完成しました。芝生化に合わせて芝生を維持管理する組織として「芝生見守り隊」が結成され、当時、地域コーディネーターとして学校に関わっていた増田さんにも協力要請がありました。最初は隊員の一人として参加していましたが、平成24年度からは「芝生見守り隊」の代表として活躍されています。

一方、上野さんは、蓮根第二小学校が避難所になる際の建物診断の担当になったことがきっかけで、芝生の維持管理に携わるようになりました。

活動の中でこれまで最も大変だったことは、芝刈りなどの参加者を増やすこと。今年度4月からはあいキッズ(学童保育)のメンバーを中心に声掛けを始め、子供たちも積極的に活動しています。初めはやみくもに走って芝を刈っていましたが、子供たちも、回を重ねるにつれて「何のために刈っているの?」と作業に関心を持ったり、街で出会うと「今週もやるの?」と声を掛けてくれたりと、芝生への愛着心が育っているのを感じられるそうです。

また、今年度初めて芝生を苗から育てて植えることにしました。「摩擦で芝生が消耗している部分をうまく補植できれば」と期待を寄せられています。

この活動を続けていて嬉しいこととしてお二人は、「運動会の騎馬戦やダンスなど、芝生の上で裸足になって生き生きと演技している子供たちを見ること」と話してくださいました。



写真左: 親方
板橋区立蓮根第二小学校 芝生見守り隊代表
増田 隆さん

写真右: 匠
板橋区立蓮根第二小学校 芝生見守り隊隊長
上野 高靖さん

東京都教育委員会 [緑の学び舎づくり事業]

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 〒163-8001 都庁第一本庁舎北側40階
東京都教育庁地域教育支援部義務教育課
TEL (03) 5388-3567 FAX (03) 5388-1734
東京都教育委員会印刷物登録 平成28年度 第63号

校庭芝生化の詳細はホームページでも掲載中

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/pickup/seisaku_shibafu.htm

R270

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。